

地方創生関連交付金等 平成29年度実施事業 一覧

| No. | ①事業名 (活用した交付金等) | ②担当部課 | ③実績額 (円) | ④事業概要 | ⑤重要業績評価指標 (KPI) ※各事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標 (目標値) | | | ⑥その他 |
|-----|--|---|---|---|--|-----------------------------|-----------------------------|------|
| | | | | | 項目 | 目標値 (H30.3) | 実績値 | |
| 1 | 古民家利活用による移住定住促進施設整備 (地方創生拠点整備交付金) | 市長公室 ふるさと創生課 | 【総事業費】 54,210,812 【交付金】 27,105,406 (交付率1/2) | 緩やかな人口減少が続く本市において移住・定住促進は地域活性化に必要不可欠の要素である。旧城下町の一角にある古民家を改装し、移住希望者の相談対応窓口や生活体験をしていただくためのお試し住宅、移住者同士がつながるための地域交流拠点とすることで、「トカイ」の利便性を失わず、一方で、京都府内最大の農産物生産地としての「イナカ」の良さの両方を享受できる「トカイイナカ」としての本市の良さを感じられる移住定住促進拠点を整備する。 整備した拠点の運営について、移住希望者や本市に住む特に若者世代が本市で生活し、働くことが魅力的なものに感じられるよう、施設及びその周辺の魅力が伝わる移住体験ツアーやセミナー、本市に古くから伝わる郷土食を使ったケータリングサービスなどの開発に地元住民に積極的に参画いただき、取り組む。市外からの移住希望者や移住者だけではなく、これまで、本市の魅力に気が付かず、市外での生活に方向性が向いていた特に若者が、本市に誇りを持ち、今後も住み続けたいと思えるシビックプライドを持つことで、若者世代にとって、「選ばれるまち」「住み続けたいまち」を目指す。 | 亀岡市の転出入の増減幅縮小 (直近5年間合計) | △1,650人 (転出が転入を1,650人超過) | △2,130人 (転出が転入を2,130人超過) | |
| | 移住促進拠点活用事業 (地方創生推進交付金) | 市長公室 ふるさと創生課 | 【総事業費】 998,589 【交付金】 499,294 (交付率1/2) | | 本施設の移住相談窓口来訪者のうち、本市への移住決定者 | 0人 (H30開設予定) | 0人 (H30開設予定) | |
| 2 | 「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」プロジェクト (地方創生推進交付金) | 健康福祉部 地域福祉課 まちづくり推進部 都市計画課 都市整備課 土木管理課 | 【総事業費】 26,784,565 【交付金】 13,392,282 (交付率1/2) | 亀岡市内に息づく花や緑などの魅力を体感いただくため、市民・民間が主役の緑のまちづくりを進める「ガーデン・ミュージアム」と、豊かな自然環境に恵まれた地域の生物保全や地域資源を活かしたまちづくりを進める「ネイチャー・ミュージアム」の2つを融合させ、亀岡まるごとミュージアム(博物館)として位置付け、亀岡の来訪者へのおもてなしの気持ちを表すとともに、地域活性化、観光振興を図り、にぎわい人口の拡大及び定住促進に繋げる。 | 亀岡市の転出入の増減幅縮小 (直近5年間合計) | △1,650人 (転出が転入を1,650人超過) | △2,130人 (転出が転入を2,130人超過) | |
| | ガーデン・ミュージアムおもてなし事業 (企業版ふるさと納税) | まちづくり推進部 都市整備課 土木管理課 | 【総事業費】 25,000,000 【寄附金】 25,000,000 | | にぎわい人口を600万人にする。 | 5,736,000人 | 5,970,484人 | |
| 3 | 森のステーションかめおか (地方創生推進交付金) | 産業観光部 商工観光課 | 【総事業費】 14,300,000 【交付金】 7,150,000 (交付率1/2) | 「森の京都」としての取組の効果をより一層高めるため、市街地周辺地域のそれぞれ特徴を有する神前地区〔匠ビレッジ、チョロギ村〕、西別院町〔ドリムトン村(英国村)〕、川東地区〔レンタサイクル事業等〕の3地域を「森のステーション」として位置付け、「森の京都」の新たな入り口としての機能を持たせ、市街地及び隣接する京阪神から来訪者を呼び込み、亀岡市全体に人の流れを創出し、滞在型の事業を展開することで、亀岡市の付加価値を向上させ、にぎわい人口の拡大及び定住促進に繋げることを目的とする。 平成28年度に地方創生加速化交付金を活用して亀岡市交流会館に整備した、「匠ビレッジ」を拠点とし、地域資源を活用して砥石の職人の技の伝承及びチョロギなどを使った特産品開発等を行い、地域コミュニティの活性化やにぎわいの創出を図る。 | 観光消費額 | 66.16億円 | 74.69億円 | |
| | 森のステーションかめおか(神前地区)魅力向上事業 (企業版ふるさと納税) | 産業観光部 商工観光課 | 【総事業費】 10,000,000 【寄附金】 10,000,000 | | 森のステーションかめおか入場者数 | 140,000人 | 89,583人 | |

地方創生関連交付金等 平成29年度実施事業 一覧

| No. | ①事業名 (活用した交付金等) | ②担当部課 | ③実績額(円) | ④事業概要 | ⑤重要業績評価指標(KPI) ※各事業ごとの進捗状況を検証するために設定する指標(目標値) | | | ⑥その他 |
|-----|---|---|---|--|--|------------|---------------------------|------|
| | | | | | 項目 | 目標値(H30.3) | 実績値 | |
| 4 | 森のステーション1「(仮称)森のステーションファンタジーコテージ設置と周辺拠点整備」(地方創生拠点整備交付金) | 生涯学習部 市民力推進課 | 【総事業費】 27,961,200 | 「森のステーション1」(神前地区)の亀岡市交流会館(宮前町)は、地域資源である砥石や薬草等を活かした「匠ビレッジ」や「薬膳レストラン、薬草原」、また幼少期から親子で体験を通じて自然の大切さを学ぶ「地球環境子ども村」の3つの機能を有する、まさしく癒しの空間である。そこに、宿泊可能なコテージを設置することにより、山々に囲まれ生物との共生を身近に体感できる環境で、田舎暮らしなどの素晴らしさを体験いただくとともに、森のステーションかめおかを拠点に地域振興、地域活性化を図る。 「森のステーション3」(川東地区)の七谷川野外活動センター(千歳町)は、生涯学習の場として野外活動を通じて自然の中で健全な青少年の育成を目的としている。本施設の魅力を高め、既存の設備を宿泊機能を持つよう改修することで、川東地区の観光誘客、観光消費の拡大、にぎわい創出の拠点施設を目指す。 | 森のステーションかめおかに係る使用料収入 | 400千円 | 859千円 | |
| | | | 【交付金】 13,980,600 (交付率1/2) | | 地元住民雇用創出 | 8人 | 17人 | |
| | 森のステーション3「七谷川野外活動センター さくらツリーハウスの整備」(地方創生拠点整備交付金) | 教育部 社会教育課 | 【総事業費】 52,142,000 | | 京野菜等地元産品購買売上額 | 400千円 | 886千円 | |
| | | | 【交付金】 26,071,000 (交付率1/2) | | 亀岡市七谷川野外活動センター利用料金 | 6,637千円 | 3,803千円 | |
| 5 | 今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業 (地方創生推進交付金) | 生涯学習部 文化・スポーツ課 市民力推進課 産業観光部 商工観光課 農林振興課 文化資料館 | 【総事業費】 65,032,614 【交付金】 32,516,307 (交付率1/2) | ワールドベストシティランキングで2年連続1位に輝いた京都市に訪れる国内外の観光客を、京都府全域への周遊へつなげていくため、国際観光都市「京都市」、北部の「海」、中部の「森」、南部の「お茶」という地域ブランドの下にそれぞれDMOを設立し、圏域内の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に実施できる体制整備を進めるとともに、各DMO間の周遊性の向上による観光滞在時間の長期化と観光消費額の増加を図り、観光産業が地域経済を循環させる社会の実現を目指す。 | 観光消費額(京都府) | 9682.8億円 | 1兆1884.2億円 (亀岡市74.4億円) | |
| | | | | | 観光入込客数(京都府) | 8874.4万人 | 8686.7万人 (亀岡市290.9万人) | |
| | | | | | 外国人宿泊者数(京都府) | 263.85万人 | 361.21万人 (亀岡市0.63万人) | |
| | | | | | | | | |
| | | 総事業費合計 | 276,429,780 | | | | | |
| | | 交付金合計 | 120,714,889 | | | | | |
| | | 寄附金合計 | 35,000,000 | | | | | |